

平成25年度

決算報告書

第10期事業年度

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日



国立大学法人 筑波大学

平成25事業年度 決算報告書

国立大学法人筑波大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	43,200	43,899	699	(注1)
うち総合特区推進国立大学法人運営費交付金の追加	291	748	457	
施設整備費補助金	12,018	10,779	△ 1,239	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	6,339	6,711	372	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	175	175	0	
自己収入	34,409	37,197	2,789	
授業料、入学料及び検定料収入	9,150	9,124	△ 26	(注4)
附属病院収入	23,537	25,938	2,401	(注5)
財産処分収入	497	680	183	
雑収入	1,224	1,455	231	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	8,042	9,834	1,792	(注7)
引当金取崩	464	395	△ 69	(注8)
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
目的積立金取崩	545	814	269	(注9)
計	105,191	109,803	4,612	
支 出				
業務費	71,304	72,576	1,272	(注10)
教育研究経費	49,275	47,083	△ 2,193	
うちつくば国際戦略総合特区事業	291	748	457	
診療経費	22,029	25,493	3,464	
施設整備費	14,112	13,143	△ 968	(注11)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	6,339	6,711	372	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	8,042	8,050	9	(注13)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	5,146	5,146	△ 0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	249	339	91	
計	105,191	105,966	775	
収入－支出	0	3,837	3,837	

- (注1) 運営費交付金については、補正予算による、復興関連事業による増加などの要因により、予算額に比して決算額が699百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、最先端研究基盤事業・老朽化対策等基盤整備事業が 未完成となったため、予算額に比して決算額が1,239百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が372百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、在学者の減により、予算額に比して決算額が26百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、入院患者数・手術件数の増加及び外来化学療法の件数が増加などの要因により、予算額に比して決算額が2,401百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、不用物品等売却収入などの増加により、予算額に比して決算額が231百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的に資金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が1,792百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、退職者が減少したため、予算額に比して決算額が69百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、大学機能強化に伴う施設整備及び附属病院機能強化に向けた医療機器の整備などのために、予算額に比して決算額が269百万円多額となっています。
- (注10) 業務費については、翌年度に継続して行う事業を繰越したことにより教育研究経費の決算額が減少した一方、診療実績の増加に伴い診療経費が増加したこと等により、予算額に比して決算額が1,272百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が968百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が372百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。